

留学生お別れ会を開催しました



▲帰国されるエイミーさん(中央)

タイから横田高校へ留学しているPICHABHORN YUTHAWONGSUKHさん(愛称:エイミーさん)が、2月をもって帰国することに伴い、1月27日に町国際交流協会主催のお別れ会が開催されました。

ホストファミリーや国際交流協会、横田タイクラブ、横田高校の関係者が集まり、エイミーさんと長さ約1.5mの恵方巻きを作ったほか、滞在中の思い出話に花を咲かせていました。

国際交流協会から記念品としてお茶道具セット、横田タイクラブからはそろばんが贈られると大変気に入った様子でした。

お別れ会の終盤には、エイミーさんからホストファミリー一人ひとりに向けて感謝の言葉が贈られました。別れを惜しみつつも、参加者全員で楽しい時間を共有しました。

厳冬の中、炎と向き合う三昼夜 日刀保たたら火入れ式



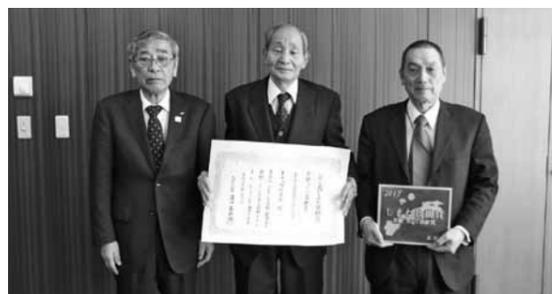
▲「初種」を炉に入れる村下たち

鳥上地区の日刀保たたらで、1月中旬から2月初旬にかけて3回のたたら操業が行われました。1月24日には、火入れ式が行われ、(公財)日本美術刀剣保存協会をはじめとする関係者が出席し、操業の安全祈願を行いました。

安全祈願の後、村下の木原明さんと村下代行の三上孝徳さんが「初種」と呼ばれる砂鉄を炎の吹き上がる炉に投入。高殿の天井に設けられた煙出し部分からは雪が吹き込み、燃え上がる炎と対峙し、操業をより神秘的にさせていました。

その後、三昼夜にわたって木炭と砂鉄を入れる作業を繰り返し行い、27日の明け方に玉鋼(たまご)を取り出す作業が行われました。この操業で生産された玉鋼は、日本刀の原料として全国の刀匠に供給されます。

第25回しまね景観賞が決まる くらぶ 景観づくり貢献賞をイチョウ倶楽部が受賞



▲受賞されたイチョウ倶楽部(枝木実徳会長(中央)、田中住職(右))

魅力ある島根の景観づくりに貢献している街並みや建造物、活動などを表彰し、快適で文化の薫り高い島根の景観を形成していくことを目的とする第25回しまね景観賞が決定し、景観づくり貢献賞をイチョウ倶楽部(大馬木)が受賞されました。

景観づくり貢献賞は過去に受賞された物件で、受賞後も引き続き良好な景観づくりを行っているものを5年ごとに表彰されるものです。今回、17件の応募の中から、平成22年度にしまね景観大賞を受賞した「金言寺の茅葺屋根と大イチョウ」の景観づくりを行っているイチョウ倶楽部が選ばれました。

金言寺の田中克彦住職は「イチョウ倶楽部は地元住民80人が会員となって活動しています。この受賞は交通整理や草刈などの環境整備を地元と一体となって行った活動が評価されてのことです。大イチョウが黄葉する秋だけでなく、春、夏、冬に訪される方が増えました」と受賞の所感を語られました。



▲金言寺の大イチョウ

三井野原でスキー大会 スキー技術を競う



▲クロスカントリーの滑走

2月4日、第51回陰陽三井野原スキー大会、第51回仁多郡スキー選手権大会、第48回仁多郡中学校スキー大会の3大会を兼ねた大会が三井野原スキー場で開催されました。

晴天の下、スラロームとクロスカントリーの競技が行われ、日頃の練習成果を競い合いました。

<p>スラロームの部</p> <p><小学女子> 陰陽・仁多郡1位 景山 和葉さん(八川小)</p> <p><小学男子> 陰陽・仁多郡1位 上田 富太さん(八川小)</p> <p><中学男子> 陰陽・仁多郡・中学1位 景山 慎平さん(横田中)</p> <p><一般男子> 陰陽1位 田中 洋さん(出雲SC)</p>	<p>クロスカントリーの部</p> <p><中学女子> 陰陽1位 福岡 藍さん(玉湯中) 仁多郡・中学1位 藤原 ゆりかさん(仁多中)</p> <p><中学男子> 陰陽・仁多郡・中学1位 石原 悠太さん(仁多中)</p>
--	---

※大会名、順位、入賞者(所属)の順

奥食プロジェクトがスタート! 奥出雲の食の魅力を発信



▲話し合いをする参加者

1月16日、奥出雲の食の魅力をまち全体で発信するための“Okuizumo Food Project～奥食物語～”がスタートし、生産者や飲食店などの関係者30人が参加しました。

このプロジェクトは、観光庁の補助を受け、奥出雲町観光協会が主催。講師は広島文化学園短期大コミュニティ生活学科准教授でフードプロデューサーの鳥田いづみさんが務められます。

はじめに、鳥田准教授が全国の成功事例を紹介し、「地域の思いをひとつにして魅力を発信していくことが大切」と説かれました。その後、参加者は5グループに分かれ、既存のイベントと食を組み合わせるアイデアを考えました。

今後、まち全体で取り組むための方向性を決め、新商品やメニュー開発などを協議していかれます。

全国駅伝に仁多中学校陸上部から2人出場



▲田部さん(左)と加藤さん(右)

1月10日、皇后盃第36回全国女子駅伝に出場する加藤小雪さん(仁多中3年)、天皇盃第23回全国男子駅伝に出場する田部智暉さん(仁多中3年)の激励式が役場仁多庁舎で行われました。

昨年11月11日に開催された予選会の中学生3,000mにおいて、加藤さんは第1位、田部さんは第2位の成績をおさめ、代表選手に選考されました。

勝田町長が「これまでの練習成果を発揮し、自己ベストを目指してください。ご健闘を祈ります」と励ますと、加藤さんと田部さんは「チームに貢献できるよう全力を尽くしたい」と決意を語られました。

1月14日に京都市で開催された全国女子駅伝の3区(中学生区間)に加藤さんが出場し、快走をみせ4区の選手にたすきを繋がれました。

しまね版特区に認定 三成本町通り商店会「奥出雲軽トラ新鮮あご市特区」



▲昨年10月に実施した軽トラ新鮮あご市

島根県では、地域活性化のために取り組もうとしている事業が様々な規制により実施が困難な場合、規制の特例措置を設けることにより実現を図る制度(しまね版特区)があります。

三成本町通り商店会が実施する「奥出雲軽トラ新鮮あご市」は、地元農産物等の販売・PR、子ども向けの職業体験、生産者と消費者の交流イベントを実施し、地域活性化を図るもので、県道玉湯吾妻山線の一部区域を活用しています。この度、この事業計画と規制の特例措置として、道路使用許可単位等の緩和、申請手数料の免除をしまね版特区に申請したところ、公共性・公益性が高い事業として認められ、特区認定されました。今後、商店街の賑わい創出や農商連携の推進等による地域活性化が期待されます。